

株式会社 日鋼スチール 御中

神戸製鋼所：鉄鋼事業部門の緊急点検結果

2017年11月14日  
株式会社 神戸製鋼所  
鉄鋼事業部門



このたびは、弊社及び弊社グループ会社における不適切行為に関しまして、貴社にも多大なご迷惑をおかけしていること、改めて深くお詫び申し上げます。

掲題につき、下記の通りご報告申し上げます。

記

1. 貴社向け鋼材について

貴社向けに当社が製造し、納入した全ての鉄鋼製品につき、貴社との取引契約に基づき、当社がその品質を保証させていただくことを改めてお約束申し上げます。

2. 鉄鋼事業部門での自主点検及び緊急監査の結果について

本年8月末にアルミ・銅事業部門での不適切行為（2017年10月8日付公表案件）が判明したことを受けて、本年9月より、緊急で、2016年9月から2017年8月までの1年間に出荷した製品を対象に、「鉄鋼事業部門による自主点検」及び「本社部門による緊急監査」を進めてまいりましたが、これまでに、加古川製鉄所、神戸製鉄所、高砂製作所及び海外を含むグループ会社において概ね調査を終了いたしました。

対象となる製品（銑鉄、薄板、線材、棒鋼、厚板、鉄粉、鋳鍛鋼、チタン）の内、鉄粉の一顧客向け一鋼種に関する「不適切なデータ書き換え」、及び「グループ会社の検査工程で発生した問題事象（\*1）」が確認されたほかに、不適切な行為は現時点で確認されておりません。

- \*1 お客様との間で品質上の問題がない旨の合意が完了している事案につき、10月13日及び10月20日に公表いたしました。いずれも、弊社線材及び厚板の出荷先のグループ会社における検査工程で発生した問題事象であり、当社で製造した線材及び厚板の品質に関する問題ではありませんでした。

3. 緊急点検結果の適正性、妥当性の再検証

今後は、10月26日付で設置されました「外部調査委員会」が、当社がこれまで実施してきた自主点検の方法・内容などについての適正性や妥当性の再検証、類似案件の有無の調査、本件不適切行為の徹底的な原因の究明（直接的な原因のみならず、企業風土、コンプライアンスおよび組織運営体制の課題といった背景となる要因等を含みます。）と再発防止策の検討等を行ってまいります。

以上